くらしのなかの 水道・下水道

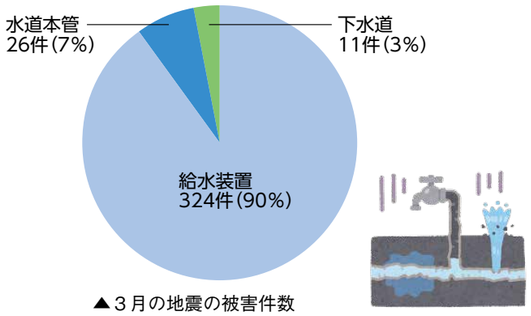
今年は３月に大きな地震があり、市内の上下水道施設にも被害がありました。
今回は、地震などの「いざ！」という災害への備えについてお伝えします。

問上下水道事業所　☎25-5522

■令和４年３月の地震では宅地内の水道管の被害が多く確認されました

令和４年３月16日の福島県沖を震源とする地震では、上下水道施設被害件数361件のうち、宅地内の水道管の被害が324件と最も多いものとなりました。蛇口や宅地内の水道管などの「給水装置」はお客さまの財産です。修理もご自身で手配していただくようになります。

普段から、かかりつけの業者さんを決めておくと「いざ！」というときに安心です。



▲３月の地震の被害件数

宅地内の水道管や蛇口などが破損したら、市の「指定給水装置工事事業者」へ連絡して修理を依頼してね。
（詳しくは市のホームページを見てね！）

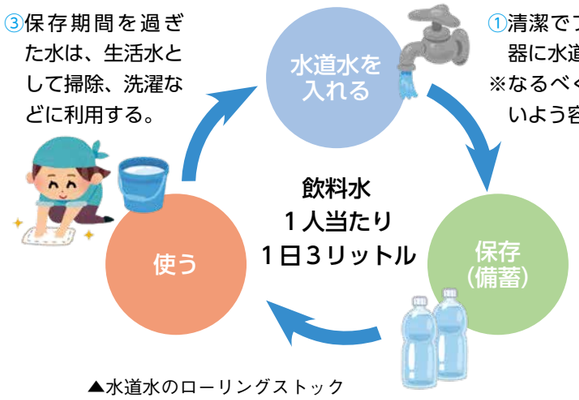
■家庭で「いざ！」の災害に備える　～水道水のストックにチャレンジ！～

●災害に備え飲料水を自分で確保する

災害に備えて１人当たり１日３リットルの飲料水の確保が推奨されています。

大規模で広域的な災害が発生した場合は、水道施設の復旧までに数日間かかることや応急給水用の給水車の到着が遅くなることも予想されます。

長期保存できる市販のミネラルウオーターを用意しておく方法もありますが、水道水ならたくさんの水が準備できて、交換が手軽です。「いざ！」の災害に備え水道水のローリングストックに取り組んでみましょう。



②冷蔵庫や冷暗所に保管する。保存期間は、冷蔵庫で１週間程度、常温で３日程度を目安に。
※沸かした水や浄水器を通すと塩素効果がなくなりますので、保存には適していません。

▲水道水のローリングストック

学校キラリニュース

白石市学力向上プロジェクトの取り組み

白石第一小学校　「白石市の良さに気付き、愛し誇りに思う子」の育成

白石第一小学校では、児童の健全育成のため「シビックプライド（都市に対する市民の誇り）」の醸成にも力を入れています。

６年生では、修学旅行の事前学習としての企画で郷土史家の櫻井和人（さくらいかずと）さんを招き、戊辰（ぼしん）戦争と白石市のつながりを学ぶ授業を行いました。白石市と会津の関係について詳しく学び、興味を持って会津若松市に向かうことができました。戻った後は、あらためて白石市を学び直し、自分たちの住んでいる街の良さに気付くこともできました。

また、本校では月ごとに「今月の歌」を定め、７・８月の歌は「白石市民歌」としています。７月の朝の会の時間になると、各学級から元気な「白石市民歌」が聴こえてきます。市民歌は、郷土愛の願いを込めて作られたものです。その市民歌を聴いたり口ずさんだりすることで、白石市を愛し誇りに思う人に育っていくこと、そして次世代へ歌い継いでいくことをねらいとしています。

▲櫻井さんから学ぶ６年生

▲飯盛山から見る会津若松市

▲市民歌を元気に歌う１年生

問学校管理課　☎22-1342

大平小学校　学習意欲の向上と学校生活の充実に向けて！

大平小学校では、児童の学習意欲を高め、学校生活を充実させる取り組みに力を入れています。

学習面では児童が主体的に考え、積極的に話し合いに参加することを大切にした授業づくりを行っています。さらに、学習内容の定着を図ることを目的として、下校前に20分間のチャレンジタイムを設定し、児童の学びの状況に応じた問題を出題します。苦手な問題の克服だけではなく、発展的な問題にも挑戦できるようにし、一人一人に目を向けた取り組みを進めています。

生活面では「白石市暗唱読本」の暗唱に取り組んでいます。児童は暗唱カードを使って指定の詩や偉人の名言などの作品を暗唱し、担任などの教員に確かめてもらって合格すると次のレベルの暗唱に挑戦していきます。この活動を通して、リズムや楽しさを実感し言葉の奥深さに興味を持つことで、暗唱への意欲も向上しています。

▲チャレンジタイムの様子

▲週に１回、暗唱して覚える時間を設定

▲暗唱を教員に確認してもらう児童